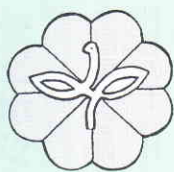


安佐南区民生委員児童委員だより



ふれあい

第39号 令和6年 — 3月

発行：安佐南区民生委員児童委員協議会

わたくしたちは、すべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます
— 民生委員児童委員信条の中から —

第92回 全国民生委員児童委員大会が広島で開催されました



式典の様子

令和五年十一月二十一日、二十二日に広島市内で全国民生委員児童委員大会が開催されました。

全国の民生委員児童委員約三千名が広島市に集まり、研修や意見交換などを行い今後の活動の指針としました。大会にあたり、安佐南区の民生委員は運営の手伝いとして各地から来られる方のお出迎えや会場案内などの活動を行いました。

大会一日目

特別講義

講師 信友 直子さん

「ほどよくまろく、まあるくつながる地域のかたち
～おたがいさまの社会に生きる幸せ～」

初日の十一月二十一日は全員が広島グリーンアリーナに集まり、映画監督である信友直子さんの講義を受けました。

信友さんは認知症の家族を題材にしたドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」を製作されました。

信友さんには映画を撮影した際に感じた認知症の家族との関わり方や、近所の方との付き合い方など、実体験に基づいたお話をいただきました。

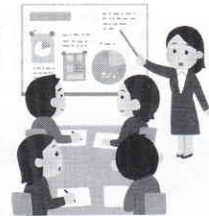
お話の中で、福祉サービスを初めて利用した時、家族に笑顔が戻り、認知症のお母様がその笑顔を見て「私はここにいていいと思えて安心した」と言われ、普段向き合う中でも笑顔で接するようになったとおっしゃっていました。

大会二日目

シンポジウム・活動交流集会

全国民生委員児童委員大会

二日目の十一月二十二日は、市内数か所の会場に分かれて高齢者対応や子育て支援、災害時の活動など様々な分野のシンポジウムや活動交流集会に参加しました。



参加した民生委員三名の感想などを紹介します。

テーマ「新たなこども政策と

これからの民生委員児童委員活動」

戸山地区 衣笠 文江

令和五年四月にこども家庭庁が設置され、こどもまんなか社会への政策、社会環境の整備推進、こども未来戦略方針の理念、政策の将来像等、こども家庭庁の山口氏のスピード感あふれる口調に魅了されました。また、全国民生委員児童委員連合会副会長の高山氏の、こどもたちの身近な大人・地域の子育て応援団の活動・挨拶運動の成果の語りは印象深いものでした。

そのほか多くの学びから私が思い出す言葉に、「人学ばざれば智なし 智なき者は偶人なり」というものがあります。今大会の学びを美化するだけでなく、智恵へとつなぎ、大人もこどもも夢を

持つてよい環境のもとで民生委員活動ができるならどんなに幸せなことかと思います。

テーマ「災害に備える地域ぐるみの

体制づくりに向けて

～多様な主体と連携した民生委員児童委員による地域防災活動～

山本地区 中田 秀穂

シンポジウムに参加し、印象に残った実践例がいくつかありました。松江市法吉地区民児協では、避難行動要支援者を「おねがい会員」、支援者を「まかせて会員」と呼んで、研修や防災訓練を行い、地域の安心安全のために取り組まれていました。

また、尾道市第九区民児協では、次世代に引き継ぐために、地元の中学校に働きかけて総合的な学習の時間を活用し、民生委員・町内会役員などと共に地域内の危険地域などを検証し防災マップ作りをされていました。

近年集中豪雨や台風によって大水害が起きたり、地震が頻発しています。東日本大震災では、高齢者などの安否確認や避難支援にあたっていた五十六人の民生委員児童委員が犠牲になりました。災害時には民生委員も自らの安全確保を第一に考え、率先避難するなど、その状況によってできる範囲内の支援しかできないのが現実です。地域の安心安全のためには、平時から住民一人ひとりや社会福祉協議会、町内自治会、包括支援セン

ターなどとの連携を密にして、研修や訓練などをしておく必要があることを再確認しました。

テーマ「高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくり」

安地区 有馬 信幸

一つ目のテーマは山形県民児協の「買物支援事業」で、毎月三回福祉施設と連携して施設の手で買物の送迎を行っていました。民児協は利用者の選出、搭乗、現地の見守り等を実施していました。

二つ目のテーマは岡山市民児協の「高齢者が生きがいを持って安心して暮らせる地域づくり」でした。関係部門と福祉委員会を立ち上げて、防災計画を立て、民児協は戸別訪問して申込書を集め、福祉マップで要援護者の方、一人暮らしの方等の居宅がわかる住宅地図を作成し、これを安否確認や情報伝達に活用していました。

三つ目のテーマは、広島県江田島市民児協の「老人給食を通して高齢者との絆づくり 孤立防止」でした。民児協と女性会で手作り弁当を作り届けて、安否確認や一人暮らしの高齢者との交流にも役立てていました。

色々な取り組みの紹介がありましたが、民生委員が地域で活動するには、一緒にできる活動を外の組織や地域の方にも参加してもらい、継続できるように努めることが必要だと思いました。

児童福祉部会

施設見学（七月七日）

平田美也子

広島修道院・広島市こども療育センター・広島市児童相談所を訪問させていただきました。

少子化と言われて久しい現在、その中でも生きづらい子どもたちや保護者の方たちを現場で支えていらっしゃる方々のお話を聞くことができました。私たちで出来ることは…と考えた一日でした。

ふれあいサタデー

（十月二十一日）

四組九名の親子に参加いただき、今年で移転となるエディオンスタジオでサンフレッチェの試合観戦をしました。

区役所に集合して懇談会の後、バスで移動し、みんなで楽しく応援しました。

懇談会では、日ごろの悩みやふれあいサタデーに応募した理由などを聞かせてもらえ、今後の活動の参考になる意見もいただきました。

高齢者福祉部会

施設見学

野川 千鳥

高齢者への新型コロナウイルスの影響を配慮し中止しました。

一人暮らし高齢者との交流（三月十二日）

原南地区の方々を神田山荘へ招き、入浴・食事・ゲームなどの交流会を行いました。

研修会

（六月二十七日）

安佐南区厚生部福祉課 河南智洋主事を講師に招き、介護保険についての研修会を行いました。広島市が発行している「介護保険制度のご案内」を参考に、詳しく説明していただきました。

要介護認定の申請、認定調査、主治医意見書、審査判定認定、結果通知、要介護度により利用できるサービスが異なるなど、個人でそれぞれ違い、当事者の方々の大変さを痛感した有意義な研修会でした。

今後の活動に少しでも活かせればと思います。

令和5年度

部会活動報告

生活福祉部会

部会（四月二十日）

藪 廣美

令和5年度の事業計画及び意見交換を行いました。

施設見学

新型コロナウイルス等の影響から、中止となりました。

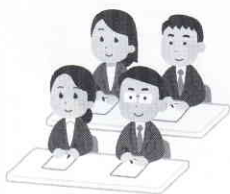
研修会（六月十九日）

安佐南区厚生部生活課 水戸川和正課長に「生活保護について」の講演をしていただきました。

生活保護の手続きで、職員の方が使用する「相談・面接票」をもとに、具体的にわかりやすく説明をしてくださいました。

さいいました。

この研修を受けて、今まで以上に、地域の方々に寄り添った活動を心がけようと思えました。



障がい者福祉部会

施設見学（十一月七日）

繁野 宜徳

株式会社エネルギア・スマイルを訪問しました。障がい者の雇用促進と安定に関する取り組みをしておられ、会社概要説明の後、電力計量器の解体の仕事を見学しました。

音楽交流会（十一月十一日）

祇園公民館で開催された障がいをお持ちの方の社会参加を目標とした行事です。

障がいをお持ちの方三十二名を含め八十四名の参加があり、二グループの音楽演奏、スプーン曲げ体験、「それいけカーブ」の合唱で楽しく過ごすことができました。

作品展示や物品販売、相談ブースがあり、相互理解を深める有意義な交流会でした。

研修会（十一月三十日）

認定NPO法人コミュニティリーダー ひゅーるぼん理事長の川口隆司氏を講師に迎え、発達障がいの理解と発達障がい者（児）とのかかわり方についての研修会を実施しました。わかりやすくお話しいただき、私たちの今後の活動に活かされる学びでした。

原南地区民生委員児童委員協議会だより

施設見学

立川 理恵

原南民児協では、年に一回福祉関係等の施設を見学するのが恒例となっていました。この三年はコロナ禍ということで休止していました。

令和五年二月、久々にこの活動を再開、広島平和記念資料館、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館、広島



市平和記念公園レストハウス、おりづるタワーを訪れました。

リニューアルされた資料館は、数十年前に訪れたときの印象とはずいぶん変わったように思いました。

追悼祈念館では、被爆した親族が登録されていることがわかりびっくりでした。

おりづるタワーでは十二階のおりづる広場でつるを折り、ガラス張りの「おりづるの壁」に投入して平和への想いを新たにしました。



皆さんの身近な相談相手として
気軽に声をおかけください。

新任民生委員児童委員

原 田 博 充 令和5年7月より

担当地区

長束一丁目3, 18～24, 29～31, 32の一部



敬老会

コロナの為数年中止になっていたが、今年は無事開催出来ました。案内状の配布と受付を手伝いました。



赤い羽根募金

10月1日10時から16時迄交代で募金活動に立ちました。

御協力ありがとうございました。

